

ころたけクラブのご縁もあり、小学校の運動会を見学しに行きました。みんな一生懸命練習したんだろうなあとと思うと感動して涙が出ました。

干柿手伝い

人生初、干柿の手伝いをしました。噂には聞いていましたが、紅葉なみに柿が実っていて、とても美しい光景でした。なんて言ってる暇はなく、取っても取っても柿畑の景色が同じでゾツとしました。夜は磨いたり燻蒸から出して干したりと、本当に農家さんって大変なお仕事だなあと身をもって体感しました。



▲きれいな色



▲柿磨き地獄



▲かごが動く玉入れ

炭焼き職人さんからお誘いがあり、霊山へハイキングに出掛けました。「レイザン」と書いて「リョウゼン」とは絶対読めんばい。と思いなから登ったリョウゼンの景色は最高でした。久々の運動で心も体もスッキリしました。

千葉県旭市の視察

▶良い子はマネしないでね



12月号
協力隊通信

Vol. 2

宮原 治代
(ミヤハラ ハルコ)

10月末、千葉県の旭市役所より5名、JICA東

京の職員2名が1泊2日で丸森町視察に來られました。旭市は丸森町と同様に東京2020オリンピック・パラリンピックでザンビアのホストタウンになっており、受け入れ自治体として意見交換や町全体とザンビア人がどのように交流しているのかを参考にしたいということでした。丸森町役場での意見交換会をはじめ、齋理屋敷・八雄館、台風19号の被災地を見学しながら耕野に入りました。昼食は耕野まちづくりセンターで芋煮を提供しました。視察団の方々は丸森や耕野の取り組みが非常に参考になりました、ひとも温かく、楽しかったのでまた訪れたいとのことでした。



▲丸森地区にて被災状況の説明を受ける視察団

星をみるという名目で筆甫の、とある一軒家に行きました。星に詳しい

協力隊の解説を聞き、驚きと発見で楽しい時間を過ごしました。で、星をみるのは正味1時間。メインはわいわい火を囲みながらの料理。

鍋やらバーベキューやら手打ちそばやら最後は本格コーヒーのバリスタ登場。耕野からはスウェーデントーチを提供しました。スウェーデントーチとは、地面に立てた丸太をそのまま燃やす焚き火のこと。初のスウェーデントーチ、やみつきになりそうです。チェーンソーの使い手にならなければ。山生活、まだまだ知らないことがたくさんあって楽しいです。



▲ チェンソーで切り込みを入れます。



▲ 上からの写真：花が咲いてるみたい

えごまの脱穀作業のお手伝いに行きました。体



▲収穫し、乾燥したえごま



▲脱穀したえごま

に良いと言われるえごま。えごまは油になるまでとても手間がかかっていることを知りました。「鳥に見つかる前に脱穀しねえといけねえんだ。」えごまは鳥との戦いみたいです。脱穀作業は手作業で、ひたすら棒で打ちまくります。筋肉痛ときました。

わら細工

毎週水曜日、館矢間で行われるしめ縄づくりのお手伝いをしてきました。台風19号で一度は解散したわら細工の会ですが、今年はゼロスタートで少しずつ頑張っていくそうです。



▲手を水で濡らして編む



12/6 日曜、ザンビア人留学生を呼んで〇〇を作ります。ぜひお越しください。お待ちしております。